

食と農と暮らしと。あなたをリードするアクティブ・マガジン

かながわ西湘

2025

10

vol.229



農家を引き継ぐ

瀬戸 善一さん

福沢／南足柄市千津島

水稲90a、露地野菜15aを
栽培

やさしいまなざしでおこめを見つめる瀬戸さんは南足柄市千津島地区で水稲や露地野菜を栽培。代々続く農家を守るために本格的に農業を継ぎ4年目。毎日作業に汗を流す日々を送っています。

江戸時代から続く農家を引き継ぐ瀬戸さん。亡父が「この地域の水はとも水質が良くて、その昔は小田原藩にコメを献上していた」と自慢していたことを懐かしんでいます。

コメ作りは手間がかかる作物。「近年の高温やカメムシの対策でコメ作りが難しくなった」と苦悩を話しました。

学校を卒業後、官公庁に勤めていましたが両親が高齢になり、10年ほど前に兼業農家として農業をスタート。今では農機のメンテナンスはもちろん、農機具の機能を最大限活用し、作業効率の向上に努めています。また、3年前からは農業支援隊にも加入。田起こしから稲刈りまで主に機械のオペレーターとして活躍しています。

瀬戸さんは「いつか休耕地を活用して果樹栽培にも挑戦していきたい」と夢を語りま

未来につながる農業を

地域の課題解決に向け首長へ要望

J Aでは持続可能な地域農業の維持・発展に向け、管内2市8町の首長に対し、農林施策・予算要望書を提出しています。今年は8月4日の松田町を皮切りにJ A役員とともに農政対策委員、地域の理事らが『令和8年度農林施策・予算要望書』を提出。未来につながる農畜産物の生産・持続に向けた支援対策を求めました。

要望書の提出はJ A常勤役員のほか、地元農政対策委員、青壮年部代表、理事らが出席。食料安全保障政策や経営所得安定対策、農業経営基盤強化対策など共通要望の5項目と、

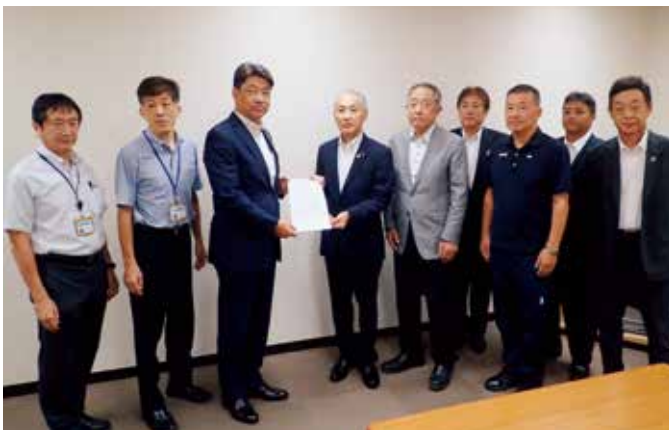
支店運営委員会で協議した意見を取りまとめた地域要望に分類。地域の実情を踏まえた課題を提起し、首長に対して支援を呼びかけました。特にコメの価格による農畜産物の『適正価格』に社会的関心が高まるなか、農家の生産コストに見合った所得確保へ制度の実効性を確保するため、『消費者への理解醸成』後押ししていただくようお願いしました。

意見交換会の中では、農政対策委員らが「安心して農業ができるよう多くの課題を解決していただきたい」などと提言。各首長とも「持続可能な農業ができるよう、いただいた要望にできる限り取り組んでいきたい」と理解を示されました。

なお、税制や都市農業理解対策、鳥獣対策など、国や県に対する要望については、J A神奈川県中央会を通じて8月25日に神奈川県に提出されました。

※農業の多様な役割を理解し、地域住民がその重要性を認識するための取り組み

組合員の声を各首長に届けました（写真は小田原市）



共通要望

【食料安全保障政策】

①『地産地消』と『国消国産』への理解促進

【経営所得安定対策】

①農畜産物の価格形成に向けた「消費者への理解醸成」の後押し
②気候変動等を踏まえた作付け転換等への農家支援

【農業経営基盤強化対策】

①農作業の効率化を目指したスマート農業に対する研究と実証試験
②多様な農業者が挑戦できるような環境整備や支援策の構築

【有害鳥獣対策】

①有害鳥獣対策における助成措置の拡充

【農業振興対策】

①地域農業の維持・発展を目指した取り組みの連携と支援

令和7年度農林施策・予算要望に対する成果（抜粋）

南足柄市Ⅱ有害鳥獣対策資材の購入補助費の増額

山北町Ⅱ主要作物以外の農作物導入を新規に始めた場合の支援策を創設
大井町Ⅱ苗木購入に対する補助制度の創設に向けた取り組み

理事会だより

主な議題

令和7年8月27日

◆福沢支店建替えにかかる基本設計及びスケジュールについて

福沢支店の新築建替えにあたり、新店舗の基本設計と完成引渡しまでのスケジュールについて協議した結果、承認されました。新店舗は、軽量鉄骨造平屋建て延床面積267.86㎡の設計。店舗内には直売スペースが併設され、店舗前には駐車場23台分を用意します。新店舗の完成引渡しは令和9年4月頃を予定しています。

◆組合員座談会の開催について

組合員との対話活動の一つとして、令和7年11月・12月に組合員座談会を各支店で開催することを協議した結果、承認されました。正・准組合員を対象として、議題は①令和7年度上期の経営状況②自己改革の実践③支店運営委員会、支部の機能発揮に向けて④新エリア構想による移行後の具体的な業務内容など。④は令和8年4月に移行する「第3グループ」3エリア11支店のみ対象となります。

◆令和7年度「かながわ西湘貯蓄キャンペーン」について

令和7年10月1日（水）～12月30日（火）に「かながわ西湘貯蓄キャンペーン」を実施することになり、地域の子どもたちに「安全・安心」な農産物を「子ども食堂」を通じて支援する「子ども食堂応援定期貯金」の具体的な施策、金利優遇等を協議した結果、承認されました。

ニンニクの植え付け(10月の作業)

(1) 種球の準備

○種球(りん片)の選別

暖地系(平戸など)では、1a当たり10kgの種球が必要です。腐敗が発生していないか確かめ、健全なりん片だけを選ぶようにしましょう。大きいものが大玉になりますが、大きすぎると裂球が増えるので注意しましょう。

○水浸漬と種球消毒

- ・萌芽を揃えるため、1～2日間水浸漬(水温は25℃以下)を行きましょう。
- ・定植の2日前か前日に行いますが、黒腐菌核病の被害が懸念される場合は、種球消毒をしましょう。

(2) 施肥量

マルチ栽培のため、緩効性肥料中心の全量基肥とします。

ジシアン有機化成 S 806	20kg/1a	植え付け前
----------------	---------	-------

(3) 植え付け

- ・芽が出る方を真直ぐ上に向けて植えます。
- ・植え付けの深さ(覆土)は5～7cmで収量は変わりませんが、浅植えでは裂球率が高くなり、10cm以上になると生育が著しく遅れるので注意しましょう。
- ・マルチ栽培で、黒マルチの穴の間隔は株間、条間15cm以上とします。

農業機械利用事業予約システムがスタートします

農業機械利用事業については、各支店・営農経済センター窓口と電話で受付を行っていましたが、**10月1日(水)**から当JAのホームページの専用サイトにてネット予約を開始いたします。ネット予約開始に伴い、利用時間等を一部変更いたしますのでご注意ください。

※本予約システムは農業機械利用事業講習会を受講された方が対象です。

(1) 貸出は当日の9:00 または、前営業日16:30

(2) 返却は16:00 または、翌営業日の8:40

(3) 土日や祝日の貸出は行いません

・土日や祝日に利用の場合 貸出:金曜日(前営業日)の16:30 / 返却:月曜日(翌営業日)の8:40

(4) 窓口や電話受付については、各営農経済センター、中井支店、山北支店のみで受付を行います。

お問合せ先:営農部営農企画課 ☎ 0465(46)6952

野生鳥獣による農作物被害があった場合は

『農作物被害届』の提出にご協力を

組合員の皆さまから提出いただいた『農作物被害届』は県や市町に対して、対策強化を働きかける根拠となり、捕獲活動強化に結び付きます。野生鳥獣による農作物被害があった場合には各支店や各営農経済センターにある『農作物被害届』用紙、または当JAのホームページから提出をお願いいたします。

JAかながわ西湘ホームページ
<https://form.ja-group.or.jp/ja0269/damage>



お問合せ先:最寄りの支店、各営農経済センターにご連絡ください

技術顧問の出勤体制について

8月1日より峯尾顧問が開成営農経済センターに配属されました。火曜日～土曜日(8:40～16:00)に出勤しています。

詳しくはこちら→



令和7年産

『湘南潮彩レモン』の取り扱いがスタートします!

令和7年産の集荷を12月から令和8年5月まで実施します。出荷を希望される方は期日までに最寄りの各営農経済センター、山北支店、中井支店までお問合せください。

《提出書類》 ①令和7年産・令和8年産委託販売契約書

②令和7年産レモン出荷申告書

《提出期日》 令和7年10月24日(金)まで

《提出先》 最寄りの各営農経済センター、山北支店、中井支店

※出荷契約者へは12月に実施予定の『出荷目合わせ』開催通知を別途案内します。

《前年産支払平均単価(参考)》 kg単価

秀 優 品:390円

良 品:292円

特用(加工):188円

※通常のレモンを出荷する場合でも、ここで委託販売契約書及び出荷申告書の提出が必要となりますので、出荷希望者は必ず提出をお願いします。



湘南潮彩レモン 品種:『ピアフランカ』、『ユーレカ』、『リスボン』等の高酸系レモン

通常のレモン 品種:『マイヤーレモン』、『璃の香』

※その他品種を出荷したい場合、必ず出荷申告書に記入のうえ、集荷先選果場にご相談ください

特集



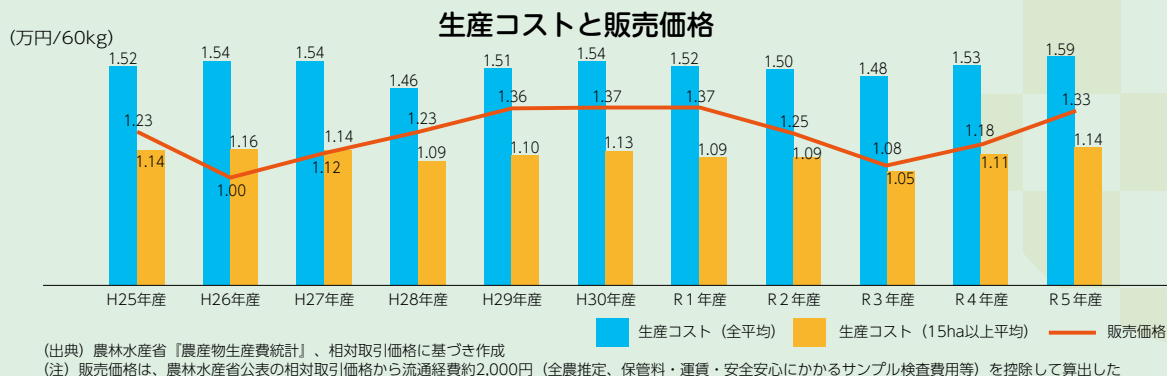
お米が担う 役割を考える



先月は稲作の現状や水田の役割について紹介しました。
 今月は流通の流れやＪＡの役割についてご案内します。

生産コストと販売価格

国における農地の集積・集約化の取り組みにより令和３年産までは米の生産コストは減少傾向にありましたが、国際紛争の影響を受けて令和４年から令和５年にかけて、肥料などが高騰し、生産コストが上昇しました。15ha以上の生産者においては黒字経営となっていますが、その人数は水稻生産者全体の２％未満。多くの生産者が赤字経営となっています。そのため、今後販売価格については、消費者への理解を促進し、適正な価格を形成していく必要があり、当ＪＡでは『令和８年度農林施策・予算要望』の中で各首長に価格形成に向けた『消費者への理解醸成』について後押しをお願いしました。



流通の流れ

①委託販売

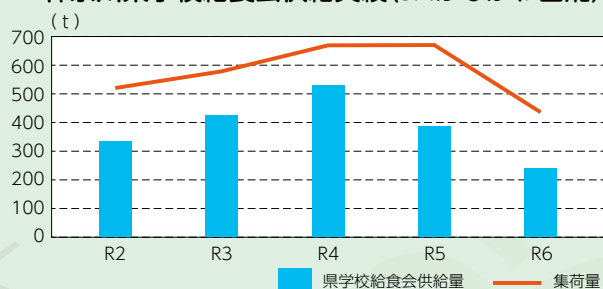
ＪＡが米を販売する方法には、『委託販売』と『買取販売』があります。『委託販売』は受託者(全農)が委託者(生産者)に代わって価格交渉から代金回収までの販売業務を行い、得られた代金を委託者に清算する仕組みです。



※かながわ西湘では『委託販売』で行っており、管内で集められた米は、すべてＪＡ全農かながわへ出荷されます。

②学校給食米

神奈川県学校給食会供給実績(ＪＡかながわ西湘)



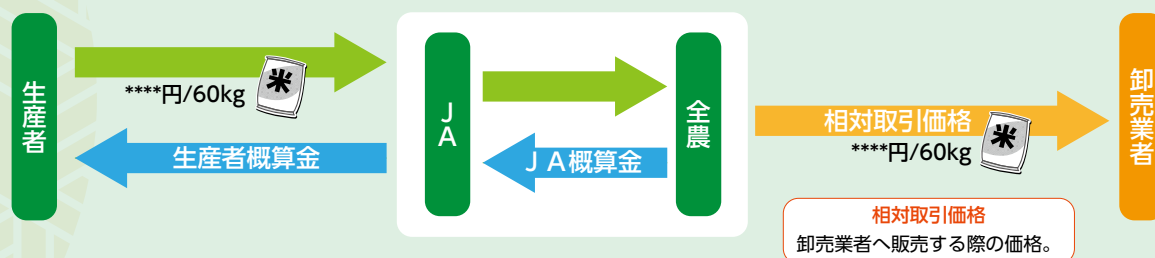
※Ｒ５年からは、高温障害やカメムシ被害等により、３等米の割合が増えたため、前年と比べ学校給食会への供給量が減少しています

その後、主に神奈川県学校給食会へ出荷され、給食米として子どもたちに提供されます。(集荷された米のうち、１等米と２等米が学校給食米となります) また一部の米は、かながわ西湘が買い戻し、朝ドラファーム、開成営農経済センター、湯河原営農経済センターで販売しています。全農では商品にして出荷しています。



③米の概算金

概算金は、米を集荷する際に支払う一時払い金です。販売価格や販売経費の見込み、集荷環境等を勘案し、県ごと・ＪＡごとに設定します。特徴として、米作りは費用の支払いが先行するため、生産者はＪＡへの出荷時に一定の収入を得ることができます。また、追加払いにより、年間の販売状況を適切に反映した収入を得ることができます。



お米の出荷はＪＡへ！

令和７年度産米穀概算金がこのほど決まりました。１等米**14,150円/30kg袋**（確約・持込加算金含まず）と大幅増となりました。出荷後約１週間で『概算金』をお支払いします。また、うるち米（その他品種を除く）は、契約数量の95～120%の範囲内で出荷した場合、全集荷終了後に500円/30kgの確約加算金をお支払いいたします。さらに生産者自らがＪＡ集荷場に持ち込んだ場合は、持込加算金として100円/30kgの加算を行います。

今年産の『西湘はるみ米研究会』加入者が出荷されたはるみ米については、全集荷終了後に300円/30kgの助成金をお支払いいたします。また、食味分析結果で『さかわのめぐみ』には500円、『準・さかわのめぐみ』に250円が別途加算され、全農からの加算が次年度末支払われます。

集荷した米は学校給食へ出荷していますが、６月末の契約数量は目標の50%にも達していません。子どもたちに県内産を食べてもらうためにもＪＡへの出荷をお願いいたします。

出荷契約は毎年５月に取りまとめているため、今期は終了しておりますが、出荷契約を結んでいない方も出荷することができますので、各営農経済センター、中井支店、山北支店へお問合せください。

令和7年産米穀概算金

（単位：円/1袋30kg玄米）

銘柄	1等	2等	3等
はるみ	14,150円	13,850円	9,150円
参考 6年産	7,250円	6,950円	5,450円
てんこもり キヌヒカリ さとじまん コシヒカリ	14,150円	13,850円	9,150円
参考 6年産	5,750円	5,450円	4,450円

※今後、米市況価格が大きく高騰した場合には、追加概算金に加算される場合があります。
※今期は銘柄に関係なく一律での概算金となっています。

ＪＡの役割

ＪＡでは種もみや苗の生産・販売、苗の配送、米の集荷を行っています。稲作経営に必要なものをＪＡがまとめて仕入れることで、生産コストを抑える仕組みもあります。また、農家が作った米を集めて出荷することで、個人では難しい販売も安定した供給が可能になります。

集荷については、米の検査員資格を持つＪＡ職員が検査を行い、等級を判定しています。昨年度は９月23日～11月19日の間に成田総合選果場、福沢総合選果場、上府中ライスセンター、中井支店の４か所で行われ、職員延べ267人が対応しました。



参考文献：全国農業協同組合連合会『米流通に関するファクトブック』2025年7月

みんなで楽しく仲間づくり

～女性のついで交流～

女性部は9月3日、小田原アリーナで『女性のついで』を開きました。部員ら約320人が参加。体を動かし、楽しく健康増進に努めました。今年は家の光創刊100周年企画『100ダン』のダンスをみんなで踊り、色とりどりの花を咲かせました。また、風船リレーでは支部を超えたチーム対抗となり、交流を深めました。清水美智代部長は「部員一堂に会して運動を通じて交流し、楽しい1日を過ごすことができました」と活動の成果を喜びました。

※この活動はJA共済の支援を受けています



息ぴったりの『100ダン』



支部を超えた風船リレーは大盛り上がり

地域貢献の第一歩

～女性部すみれ支部雑巾づくり～

女性部すみれ支部は8月22日、雑巾づくりを行いました。支部員6人が参加し、手縫いで雑巾約60枚を完成させました。同支部は組織の再編を経て今年から女性部の支部として活動をスタート。ボランティアを行う支部として何ができるかと模索するなか、雑巾をつくり地域の高齢者施設への寄贈を企画しました。

岡部孝子副支部長は「初めての活動でしたが、和気あいあいと作業ができました。これからこの活動を続けていきたい」と話しました。11月にも雑巾づくりを計画しています。



思いを込めて縫い合わせました

地域リーダーを養成

～組合員セミナー始まる～



研修では組合員から多数の質問が出されました

協同組合の主役は組合員のあなたです。JAでは組織の主役である組合員が積極的・主体的に行動できる地域リーダーを育てるために組合員セミナーを全4回で開催します。その第1回目を8月30日に開きました。地域の代表者28人が参加。天野組合長が「協同組合としてお互い支え合い、助け合って課題解決を進めていけるよう協力していきたい」とトップメッセージを伝えました。当日は『協同組合と組合員の役割』を学びました。また、『JAの組織基盤強化に向けた費用助成と利用事業』を紹介。受講者からは「組合員が主役になるため、次回以降のセミナーに期待したい」と話しました。

※この活動はJA共済の支援を受けています

新しい味わいの 足柄茶誕生！

〈一般社団法人茶ラボあしがらとコラボ〉

県農協茶業センターは、一般社団法人茶ラボあしがらとコラボし『珈琲茶（煎茶）』を開発しました。茶葉をコーヒーとブレンドし、ドリップバッグに閉じ込めた商品で、一口飲むと深いコーヒーの味わいが広がり、余韻には爽やかな足柄茶の香りが残ります。また、足柄茶のほうじ茶を使った『珈琲茶（焙茶）』も開発。香ばしい味わいに仕上がっています。8月22日から同センターで発売され、「新しい味わい」と話題を呼んでいます。同センターでは「新しい客層の開拓につながる」と期待を寄せています。



珈琲茶をPRする同法人の石崎雅美代表理事㊤と同センターの細野克巳専務㊦

その行動が命を救う

〈AED訓練を実施〉



小田原市消防職員（左から二人目）よりAEDの使い方を学ぶ参加者

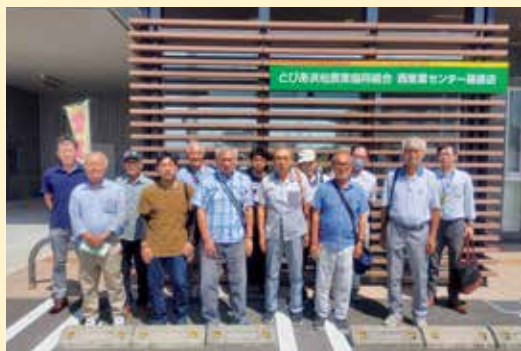
J Aでは、災害の対策として緊急時に適切な行動ができるよう防災訓練を実施しています。8月18日には、役員や室部長のほか各支店長などを対象にAEDを使用した心肺蘇生訓練を実施しました。当日は、小田原市消防職員が講師を務め、一時救命処置の手順を説明。胸骨圧迫の方法やAEDの使用方法を学びました。参加した支店長は「AEDの使い方が良くなった。支店職員にも周知し、いざという時に落ち着いて行動し、命を救いたい」と意気込みました。

なお、AEDは全支店に設置してあります。

『とぴあ浜松』のタマネギ栽培を学ぶ

〈下府中野菜研究会が視察〉

下府中野菜研究会は8月6日、視察研修会を開催し、J Aとぴあ浜松の玉葱部会を訪問しました。浜松市の篠原地区で栽培されているタマネギは、明治44年から栽培が始まり、日本一の早出し産地という特徴があります。当日は、同J Aの営農担当職員が玉葱部会の歴史や栽培方法について講義。規模を拡大する意向の生産者や新規就農者によって部会の人数は約600人に増加。「今後も生産量の確保や機械化によって産地の維持・発展を目指したい」と説明すると、参加者は「規模の大きさに驚いた。とても勉強になった」と力強く話しました。



J Aとぴあ浜松で集合写真ハイポーズ！

インフォメーション

組合員対象

令和7年度 組合員・知っトク講座

第1回 親子で楽しく地産地消！

日時：令和7年12月6日(土) 10:00～15:00 (予定)

場所：南足柄市怒田地区

内容：『ミカン狩りと餅つき』

参加費：1人500円 (1組4人まで) 募集人数：小学生以下の親子25人程度

募集期間：令和7年10月27日(月)～令和7年11月7日(金)まで 応募者多数の場合は抽選とします

第2回 しめ縄飾りに挑戦！

日時：令和7年12月20日(土) 13:30～16:00 (予定)

場所：JAかながわ西湘本店 大会議室 (小田原市鴨宮627番地)

内容：『しめ縄飾りづくり』

参加費：500円 募集人数：20人

募集期間：令和7年11月4日(火)～令和7年11月14日(金)まで

応募者多数の場合は抽選とします

参加者については郵送にてお知らせします。

お申込はJAかながわ西湘ホームページ内のイベントフォーム受付または電話でお願いします。

☎0465 (47) 8183 組織広報課



※この活動はJA共済の支援を受けています

地元の
子どもたちを
みんなが
サポート！

子ども食堂応援

定期貯金

【取扱期間】
令和7年
10月1日～
令和7年
12月30日迄

スーパー定期
大口定期

適用金利

1.0%

ご利用いただける方 組合員(家族を含む) ※新規同時加入者も対象とする

寄付先 特定非営利活動法人 神奈川こども食堂・地域食堂ネットワーク

寄付額 定期貯金預入金額の0.01% (上限50万円)

お預け入れ金額 30万円以上 (新規預入資金に限る)

お預け入れ期間 6か月の自動継続

子ども食堂とは？

主に市民のボランティアが主体となり、無料または低価格で子どもたちに食事を提供する、地域に密着したコミュニティの場です。

「子どもの居場所」の活動を支援するため、「特定非営利活動法人 神奈川こども食堂・地域食堂ネットワーク」に、みなさまからお預け入れいただいた定期貯金総額の0.01%相当額(最高50万円)の管内農産物をJAより寄附させていただきます。寄付は当JAが行うため、お客さまのご負担はありません。

※詳しくは窓口まで、お気軽にお問合せください

農の総合メディア

～日本農業新聞を購読してみませんか～

日本で唯一の日刊農業専門紙です。営農技術や農畜産物のトレンド、農業経営の支援策、地域の問題など実利実益につながる情報をお伝えします。

○購読料：紙版 1か月 3,100円 (税込)

電子版 1か月 2,403円 (税込)

※紙版は最寄りの新聞店より配達されます

お申込は各支店窓口まで

農作業中傷害共済(集団契約)のご案内

JAでは現在、農作業中の事故によるケガなど、万が一に備えた農作業中傷害共済をすすめています。この機会にぜひ、ご加入ください。

年間を通じて加入はできませんが、下記のお申込期間に合わせてご加入いただくと割安な掛金で契約いただけます。

お申込期間：令和7年10月20日(月)～

令和7年11月20日(木)まで

詳しくは各支店までお問合せください

JA飲料キャンペーン

JA特選飲料が10月31日(金)まで期間限定価格

◎梅の風



290g×24本
2,500円(税込)

◎みかん畑



195g×30本
3,500円(税込)

◎湘南ゴールド
スカッシュ



290ml×24本
3,000円(税込)

◎湘南ゴールド



290g×24本
3,000円(税込)

◎足柄茶



290g×24本
2,800円(税込)
490g×24本
3,000円(税込)

◎ほうじ茶



465g×24本
3,000円(税込)

◎箱根山麓紅茶



490g×24本
3,000円(税込)

各支店及び営農経済センター等でお買い求めください

朝ドレファ～ミナハルネ店
パート・アルバイト募集!!

仕事内容：商品陳列・青果物の
袋詰め作業・レジなど

給与：【平日時給】1,225円【土日祝日は50円アップ】

待遇：交通費規定内支給、エプロン貸与

勤務時間：シフト制 ①8:30～13:00
②12:45～17:15
③17:00～20:30

○土・日のどちらかを含み週3回程度勤務できる方
扶養範囲内・学生の方も大歓迎!

○小田原駅東口 徒歩1分 (ハルネ小田原内)

お問合せ先 ☎0465 (23) 3100 担当：土屋・西村



JAかながわ西湘

本店 〒250-0874 神奈川県小田原市鴨宮627番地
TEL:0465(47)8125

●かながわ西湘10月号(vol.229) 令和7年9月20日(毎月20日発行)
●発行/かながわ西湘農業協同組合 ●発行責任者/石塚祐一
●編集/組織企画部組織広報課

JAかながわ西湘ホームページ▶<https://ja-kanasei.or.jp/> かながわ西湘

